

Takara standard

TDX (Takara standard Digital Transformation) を推進する
タカラスタンダード
「DX 認定事業者」として認定

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：小森大）は、「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応する企業として、2025年4月1日、経済産業省が定めるDX（デジタルトランスフォーメーション）認定制度に基づく「DX 認定事業者」に認定されました。



（左：TDX ロゴ／右：「DX 認定事業者」ロゴ）

タカラスタンダードは、2024年に発表した「中期経営計画 2026」の中で、DX 戦略を重要戦略の一つとして掲げ、独自の取り組みを「TDX (Takara standard Digital Transformation)」と名付け、2025年1月にはその推進を担う、TDX 推進本部を新組織として立ち上げました。

TDX では、DX によりサプライチェーン全体の業務を抜本的に見直し、戦力の最大有効活用を図ることで、「人的生産性の向上」「在庫・物流費削減」「営業基盤再構築」の3つを主要領域に、人手を解放するスマート発注システムや顧客サービスの充実、SCM 体制の構築、顧客接点情報の一元活用を進めています。同時に、DX 推進を支える人財育成にも注力。全社一丸となって、DX 推進を加速させています。

その取り組み姿勢が認められ、この度の「DX 認定事業者」認定となりました。タカラスタンダードはこれからも、属人化の排除と収益力の向上による持続可能な成長を目指し、未来のビジネスチャンスを創出します。

【ご参考】

(1) DX 認定制度とは

デジタル技術による社会変革に対して経営者に求められる事項を取りまとめた「デジタルガバナンス・コード」に対応し、DX 推進の準備が整っていると認められた企業を国が認定する制度です。

※経済産業省「DX 認定制度」https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-nintei/dx-nintei.html

(2) タカラスタンダードのDX 戦略

https://www.takara-standard.co.jp/ir/management_policy_and_strategy/dx/

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

【設立：1912年5月30日（創業112年） / 売上高<連結>：2,347億円（2023年度） / 従業員数<連結>：6,616名（2024年3月末時点）】